

地域に根差した
保育園を目指して
つまちなかこどもセンター



三重県初！！ビルの中の保育園 平成27年4月開園



平成27年4月、津市の中心にあるセンターパレスの中に、0から2歳児の地域型保育事業として、つまちなか保育園、3～5歳児を対象としたつまちなかキッズパレスが誕生しました。
三重県初のビルの中の保育園として注目を浴びています。

開園以来 地域との関わりを積み重ねてきました



開園以来、ビルの中の保育園と言うことで、進んで外へと飛び出し、地域の方と触れ合う機会を積み重ねてきました。

昨年度までの積み重ねを
更に活かすために
職員同士で話し合いました



これまでの積み重ねを活かして、今まで以上に園の存在を知ってもらいたいと、職員同士で話し合い、3つのことを頑張ろうと決めました。

プラスアルファ
+α ～一歩進んだ今年度の取り組み～
其の一) 地域に発信しよう！
其の二) 地域に飛び出そう！
其の三) 地域をきれいにしよう！

- 1、 地域に発信しよう
- 2、 地域に飛び出そう
- 3、 地域をきれいにしよう

です。

其の一) 地域に発信しよう!

①初の試み! ポスター掲示!



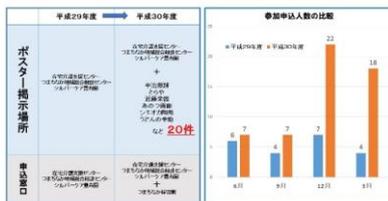
その1「地域に発信しよう」

その一つがポスターの掲示です。今では、貼って頂けるところも増えましたが、最初は断られることもあったんです。しかし、お願いしていくうちに、快く引き受けて頂けるようになってきました。これは、今年度配布したポスターですが、昨年度までのポスターに、大きく工夫を加えました。



ひとつ、見てお分かりになるように目を引くデザインにかえました。ふたつ、つまちなかこどもセンターでは保育園ということが分かりにくいと思い「つまちなか保育園」「つまちなかキッズパレス」に変えました。みつつ、地域に発信するにあたり、申込み先を保育園に変更しました。

左の表をご覧ください。



昨年度までは、つまちなか地域総合相談センターとの連携で老人交流会を開いていました。今年度は、連携を維持しながらも、園でもやれることはやろうと立ち上がり、職員が一軒一軒回った結果、20件も貼らせて頂けるようになりました。地域の方の目にとまる機会も多くなり、ひなまつり会には初めて電話での申し込みも頂けました。その中には、子育て世代のお母さんからの問い合わせもあったんですよ。右のグラフでお分かり頂けるように、申込み人数も昨年度を上回り、後半は、地域の方が誘いあって来て頂いたことが、人数の増加につながっています。

③一体感のある交流会

*お部屋を歓迎ムードに！



今年度初の取り組みとして、看板を作りました。まわりに子どもたちの作品をかざり歓迎ムードを演出しました。

*交流会の様子



こちらは、交流会の様子です。肩たたきをしている写真がありますが、優しくたたいたり、腕をさすったりして、思いやりのきもちが育っている子どもたちです。おばあちゃんたち気持ち良さそうですね。



交流会の雰囲気も変わってきました。ひまわり会の方に教えて頂いた、レクダンスをみんなで楽しく踊っています。見て下さい。子どもたちと楽しく過ごすことで、おばあちゃんたち生き生きしていますよね。会場が活気に満ちて、一体感のある交流会となりました。また、地域とのつながりができたことにより、押し花教室や、二胡の演奏のご提案を頂き、子どもたちにとっても貴重な体験となりました。

つながった『縁』を大事にしていきたいと思います。

その2「地域へ飛び出そう」

其の二) 地域に飛び出そう！

*商店街のラジオ体操に参加！



・商店街の月や毎日に様々な設備課のみなさんも一緒にラジオ体操に参加！

商店街では、一人の方が中心となって、毎日ラジオ体操が行われています。以前は挨拶をするだけでしたが、ある日、「一緒にさせてもらおう！」と輪の中に入れてもらったことをきっかけに、それ以来、毎日参加しています。子ども達が体操をしていると、自然と人が集まり、ラジオ体操の輪がひろがっています。

活動の場がどんどん広がって・・・



いっとうしょう体操やちびっこマラソンの場が観音公園に！



新しい公園見つけた！（地頭領公園）



会話を楽しむ機会が増えました！



観音公園では、今年度から、CDをもっていき、毎朝恒例の、いっとうしょう体操やちびっこマラソンもしました。楽しそうな音楽に、地域の方も立ち止まり、見守ってくれています。さらに今年は、新しく地頭領公園に行きました。散歩の途中には、挨拶だけでなく会話を楽しむ機会が増えました。

積極的に外に出ていくことにより、公共のものを大切にする気持ちが育ち、また地域の方から目を向けて頂けるようになったことで、地域との関係性も深まってきました。

其三） 地域をきれいにしよう！



敷地内だけでなく、歩道の掃除も毎日の習慣になっています



その3「地域をきれいにしよう」 夕方、職員が当番制で外の掃除と見守りをしていますが、それに加え今年度から歩道の掃除も始めました。毎日続けることで、地域の方から、「ご苦労さん」と声をかけてもらう機会が増え、励みになっています。

また、職員総出で、清掃活動を行うようになり、特に、今年の台風では散らばったごみをセンターバスの職員さんと協力して片付けました。園庭と駐車場の間には季節の花を植え、地域の方に楽しんでもらっています。



今年度の取り組みで得たものは、保育園の存在をより多くの人に知ってもらうことができたことです。保育園を知ってもらうことにより、地域の方と子どもたちの関わりも密になり、たくさんの方に守られ、支えられることにより自分たちが愛される存在であることを実感し、地域に親しみを持つようになってきました。



また、保育園の周辺はお年寄りの多い地域でもあり、子どもたちの存在が元気の源となり、お互いが助け合う関係になりつつあります。



来年度からは0～5歳児の保育園として新しく生まれ変わるつまちなか保育園。今後は、今年度取り組んできたことを土台に、小学校との交流も含め地域ぐるみの活動をもっと広げていきたいと思っています。

お母さんからの問い合わせを頂いたこともあり、高齢者だけでなく、子育て世代も参加できる交流会や、商店街の人と一緒に楽しめるイベントを考えていきたいです。地域の中で育てている子供たちだからこそ、将来地域とつながり、貢献できる大人になることを願っています。そのために、地域の活性化の一端を担えるような、地域に根差した保育園に成長していけるように頑張ります。

ご清聴ありがとうございました



つまちなか子どもセンター